



2022年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月10日

上場会社名 天龍製鋸株式会社

上場取引所 東

コード番号 5945 URL <https://www.tenryu-saw.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大石 高彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 堀内 敏晴

TEL 0538-23-6111

四半期報告書提出予定日 2021年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	6,996	42.7	1,448	176.8	1,563	138.9	1,098	142.4
2021年3月期第2四半期	4,904	19.0	523	41.8	654	27.7	453	28.2

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 2,359百万円 (109.4%) 2021年3月期第2四半期 1,126百万円 (662.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	237.40	
2021年3月期第2四半期	97.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	33,369	29,833	89.4
2021年3月期	30,783	27,844	90.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 29,833百万円 2021年3月期 27,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		80.00	80.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	18.0	2,500	61.3	2,750	56.9	1,800	49.7	388.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	5,573,817 株	2021年3月期	5,573,817 株
期末自己株式数	2022年3月期2Q	946,348 株	2021年3月期	946,286 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	4,627,495 株	2021年3月期2Q	4,627,532 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では、景気の回復傾向は持続しているものの、一方で新型コロナウイルス感染症の変異株による感染再拡大により個人消費の拡大ペースはやや鈍化しています。欧州では、各国で経済活動の制限が段階的に緩和され、景気の回復基調が維持されています。中国については、個人消費は堅調に推移していますが、政府の投資抑制策などにより景気回復のペースはやや減速傾向にあります。

わが国経済は、海外経済の回復に伴う輸出の増加等を背景に景気の持ち直しの動きが見られましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大により緊急事態宣言が断続的に発出され、経済活動が制限されるなど厳しい状況が続きました。また、半導体の供給不足による自動車産業等への影響も懸念され、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いています。

このような状況下、当社グループにおきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止を最優先にしつつ、「中期経営計画」(2021年度～2023年度)で掲げた重点戦略「効率的な生産体制の構築」、「新製品の開発および既存技術の向上」等に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は、国内外市場で受注が回復し総じて販売が好調に推移したことにより、6,996百万円(前年同四半期比42.7%増)となりました。利益面では、コロナ禍により受注が減少し休業を余儀なくされた前年の同時期に比べ、大幅に操業度が改善されるとともに、海外工場での自動・省人化設備による生産効率が向上したことなどにより、営業利益は1,448百万円(前年同四半期比176.8%増)、経常利益は1,563百万円(前年同四半期比138.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,098百万円(前年同四半期比142.4%増)となりました。

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等の適用により、当第2四半期連結累計期間の売上高及び販売費及び一般管理費はそれぞれ35百万円減少しています。なお、営業利益に与える影響はありません。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

コロナ禍により受注が大きく落ち込んだ前年同四半期と比較し、輸出を含めた販売は総じて好調に推移し、売上高は5,605百万円(前年同四半期比44.0%増)、セグメント利益(営業利益)は、受注の回復により工場の操業度が向上したことにより、523百万円(前年同四半期比2,163.6%増)となりました。

② 中国

金属用チップソー及び住宅資材用チップソーの販売が好調に推移し、売上高は2,799百万円(前年同四半期比54.6%増)、セグメント利益(営業利益)は、生産効率の向上などにより、735百万円(前年同四半期比86.4%増)となりました。

③ アジア

金属用チップソーの受注の回復に加え、住宅資材用チップソーの販売も堅調に推移し、売上高は720百万円(前年同四半期比33.8%増)、セグメント利益(営業利益)は、生産効率の向上や付加価値の高い金属用チップソーの販売増加により、87百万円(前年同四半期比178.6%増)となりました。

④ アメリカ

金属用チップソーの販売が前年同四半期と比較して回復したことなどにより、売上高は869百万円(前年同四半期比9.8%増)、セグメント利益(営業利益)は84百万円(前年同四半期比32.9%増)となりました。

⑤ ヨーロッパ

金属用チップソーの販売の増加により、売上高は369百万円(前年同四半期比45.7%増)、セグメント利益(営業利益)は29百万円(前年同四半期比183.5%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、上半期の業績を反映し、連結売上高13,000百万円(前年同期比18.0%増)、営業利益2,500百万円(前年同期比61.3%増)、経常利益2,750百万円(前年同期比56.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,800百万円(前年同期比49.7%増)と修正いたしました。詳細は、本日公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,801,882	7,986,442
受取手形及び売掛金	2,772,258	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	3,059,975
有価証券	2,002,798	1,901,560
商品及び製品	2,112,454	2,003,480
仕掛品	640,335	627,950
原材料及び貯蔵品	1,243,805	1,464,125
その他	216,496	230,939
貸倒引当金	△102,918	△101,104
流動資産合計	15,687,112	17,173,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,837,552	1,814,737
機械装置及び運搬具（純額）	3,435,104	3,468,080
土地	2,478,185	2,480,608
その他（純額）	188,213	270,678
有形固定資産合計	7,939,056	8,034,103
無形固定資産	90,704	71,617
投資その他の資産		
投資有価証券	6,523,018	7,608,519
退職給付に係る資産	114,503	124,806
その他	443,628	370,976
貸倒引当金	△14,099	△13,888
投資その他の資産合計	7,067,050	8,090,413
固定資産合計	15,096,811	16,196,134
資産合計	30,783,923	33,369,504

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	540,794	604,142
未払法人税等	161,704	310,612
賞与引当金	165,400	195,000
その他	661,763	651,579
流動負債合計	1,529,663	1,761,335
固定負債		
繰延税金負債	1,394,480	1,761,150
退職給付に係る負債	—	5,873
その他	15,717	8,066
固定負債合計	1,410,197	1,775,090
負債合計	2,939,861	3,536,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	581,335	581,335
資本剰余金	552,747	552,747
利益剰余金	25,927,775	26,656,150
自己株式	△1,980,958	△1,981,128
株主資本合計	25,080,899	25,809,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,058,653	2,802,059
為替換算調整勘定	586,629	1,125,784
退職給付に係る調整累計額	117,879	96,131
その他の包括利益累計額合計	2,763,163	4,023,974
純資産合計	27,844,062	29,833,079
負債純資産合計	30,783,923	33,369,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	4,904,813	6,996,824
売上原価	3,209,157	4,283,090
売上総利益	1,695,655	2,713,733
販売費及び一般管理費	1,172,257	1,265,101
営業利益	523,398	1,448,632
営業外収益		
受取利息	11,409	14,397
受取配当金	70,270	83,180
為替差益	16,301	—
その他	68,960	34,845
営業外収益合計	166,942	132,424
営業外費用		
支払利息	196	37
為替差損	—	16,087
その他	35,851	1,772
営業外費用合計	36,047	17,897
経常利益	654,293	1,563,159
特別利益		
固定資産売却益	285	378
特別利益合計	285	378
特別損失		
固定資産除却損	3,453	2,855
特別損失合計	3,453	2,855
税金等調整前四半期純利益	651,125	1,560,682
法人税、住民税及び事業税	143,857	403,497
法人税等調整額	54,038	58,607
法人税等合計	197,895	462,105
四半期純利益	453,229	1,098,577
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	453,229	1,098,577

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	453,229	1,098,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	879,766	743,405
為替換算調整勘定	△212,935	539,154
退職給付に係る調整額	6,490	△21,748
その他の包括利益合計	673,320	1,260,811
四半期包括利益	1,126,550	2,359,389
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,126,550	2,359,389
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました販売手数料を売上高から控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高及び販売費及び一般管理費はそれぞれ35,229千円減少しております。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,190,204	512,580	163,824	786,239	251,965	4,904,813	—	4,904,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	702,255	1,297,918	374,563	5,173	1,443	2,381,356	△2,381,356	—
計	3,892,460	1,810,499	538,388	791,412	253,409	7,286,169	△2,381,356	4,904,813
セグメント利益	23,127	394,536	31,311	63,769	10,491	523,236	162	523,398

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	中国	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高								
外部顧客への売上高	4,340,268	1,213,670	208,967	868,053	365,863	6,996,824	—	6,996,824
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,265,322	1,585,948	511,247	1,021	3,357	3,366,898	△3,366,898	—
計	5,605,591	2,799,619	720,214	869,075	369,221	10,363,722	△3,366,898	6,996,824
セグメント利益	523,526	735,533	87,245	84,755	29,743	1,460,804	△12,172	1,448,632

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「日本」の売上高は2,940千円減少し、「アメリカ」の売上高は22,378千円減少し、「ヨーロッパ」の売上高は9,910千円減少しております。なお、セグメント利益に与える影響はありません。